

府道京都広河原美山線



九鬼ヶ坂峠付近の改良を

丹政クラブ 外田 誠 議員

重要な路線であり整備区域に位置づけている **市長**

問 国道162号は、美山町を南北に縦断する広域幹線道路であり、狭隘で急カーブも多い。京都市は、栗尾トンネル等の改良に積極的に取り組み完成すれば、京都市と若狭を結ぶアクセスは格段に向上する。残すは九鬼ヶ坂峠付近の改良のみとなる。南丹市あげての取り組みが必要と考えるがどうか。また、先日答申された総合振興計画では、国道162号の記述が新市建設計画から後退しているが、市長の見解を求

める。
市長 大変重要な路線と位置づけている。府においても棚バイパス完成後の整備区域として、九鬼ヶ坂改修を位置付けて頂いている。国交省へも強く要請をした。
問 府道京都広河原美山線は、由良川をさかのぼる唯一の生活道路であるとともに、年間70万人が通行する観光道路である。国交省の新規事業に「日本風景街道」がある。この事業を使い芦生原生林

から、大野ダムまでを観光道路として整備できないか市長の所見を伺う。
市長 雪害、交通安全両面から改修が必要であり、府に強く要望していく。また、「風景街道」事業については、府に検討をお願いする。
問 農地・水・環境保全国上対策は、農地を農家だけでなく地場で守っていくものであり評価できる。しかし、事務作業が複雑で作業量も多く農家組織では、不安や不満の

声が上がっているが、今後の対応はどうか。
農林商工部長 国や府へ事務の簡素化等を要望している。また、振興会等と連携をして事務の指導・説明を行っていく。

開催された南丹市防災会議



防災体制の強化を

丹政クラブ 仲村 学 議員

地域防災計画の内容を検討 **市長**

問 京都府地震被害想定調査委員会から殿田・神吉・越畑断層の被害予測が発表された。死者3400人をはじめ機能的な被害数量結果を踏まえ、防災体制の強化と、またテレビのケーブル化により災害時に断線する恐れがある。復旧体制についても地域防災計画の見直しなど早急に取り組みべきであると考えが。
市長 府から説明を受けていない状況で衝撃的な発表であった。今後、詳細を聞き、防災計画の内

容を検討する。復旧体制についても相互応援協定を結ぶ中で検討していく。
問 京都・園部間は、完全複線化で利便性が大幅に向上する。園部以西の鉄道利用者並びに市営バス利用者がダイヤ等、利便性の向上を全く享受できない状況は、絶対に避けなければならない。また、船岡・日吉・鍼灸大学前・胡麻の4駅にもイコカ対応の改札機設置が必要であると考えが。
市長 園部以西の複線化

とダイヤ問題は、利用者との要望を聞き、促進協議会により活動を進める。バスについては、公共交通会議で審議いただくが、公共交通の充実が重要である。またイコカについては、ダイヤ改正も含めJRに要望していく。
問 文部科学・農林水産・総務が連携し、子ども農山漁村交流プロジェクトを実施すると発表した。すべての公立小学校児童を対象に全国約500地域の農山漁村で長期宿泊

体験を行うものである。本市は、教育・地域振興の2つの観点から、どのような対応を図るのか。
市長 地域活性化、都市交流と本市にとって大きなチャンスであると捉えている。
教育長 本市においては、大半の小学校で体験学習を行っている。この事業は長期宿泊なので、施設やスタッフ等、課題が多い、国や府の動向に注目し、慎重に対応していく。

南丹市と京丹波町を結ぶ観音峠



観音峠の切り下げとトンネル化を

活緑クラブ 矢野 康弘 議員

道路の重要性を再認識し、今後の課題と考える **市長**

問 国道9号観音峠の切り下げとトンネル化を。国道9号は南丹市と京丹波町や山陰地方を結ぶ大動脈である。そこに観音峠という交通の難所がある。冬期は凍結や積雪に悩み、曲がりくねった道路は交通事故や渋滞を起し、排気ガスをまき散らしながら12時間に1万278台の自動車が通行している。これをトンネル化するよう国交省へ要望していただきたい。観音峠の園部町側の

産業廃棄物の最終処分あたりから、京丹波町新水戸の称安禅寺付近まで直線でトンネル化すれば約2キロメートルで峠を登らずに京丹波町へ抜けられる。所要時間も約2分程度で通過できる。京都縦貫道もあるが有料であり使いにくい。国道9号は国の直轄道であり、南丹市には経費の負担はない。
市長 今後の課題と考える。道路の重要性を再認識する中で道路財源の確

保に努力する。
問 園部町上木崎町の中央道路の改修をお願いしたい。この道路は生活道路であり大切な道路である。旧園部町では重要な道路と位置付け側溝の改修を一部実施したが、まだ残っているのに南丹市になつてやめるのはなぜか理由を聞きたい。自動車の離合ができない所や消防車や救急車が入りにくい箇所もある。住民の安心安全のまちづくりを考

えるとき、早急に改修されたい。
市長 一定の整備は完了した。色々な課題があるが、要望もあり、今後検討したい。
問 陣田川と山田川の合流点付近が未改修である。早急に改修されたい。
市長 私も改修が必要な箇所と考えている。府にも要望し連携していく。

のどかな風景が広がる美山町内



園部平屋線のたてかべ付近の早期改修を

丹政クラブ 末武 徹 議員

府は企画調査中である **市長**

問 府道19号（園部・平屋線）、日吉・船岡間の一部区間は、大変、カーブが多く、道幅も狭く、交通事故も起きている。合併後、各旧町間の交流も盛んになり、この区間を行き交う住民が増えている。市長は、この区間についてどう認識されているか、また、現在、府はこの改良をどの程度検討されているのか伺う。
市長 大変重要な道路であり、府へ早期改修を要請している。現在、府は、

企画調査に取り組みられているが、検討に時間が必要と聞いている。
問 美しい田園風景にかやぶき屋根が醸し出すのどかな景観は、都市との交流を進める上で、欠かせない観光資源である。南丹市全域に、歴史的な趣のかやぶき建造物等が現存している。これらを保存奨励し、農村景観を守っていくことは、市のイメージアップにつながるかと考える。「豊かな田園都市・南丹市」を全国に発信するために

も、かやぶき職人の仕事を確保する観点からかやぶき屋根保存基金を拡充し、市内全域にかやぶき屋根助成を広げることが必要と考えるが、市長並びに教育長の見解を伺う。
市長 市の財政状況が厳しい中、現状では、困難である。
教育長 関係機関等の基金助成の活用を検討する。今後、保存すべき範囲や地域を慎重に審議し、その対応を検討していく。
問 高齢者を地域全体が

支える体制をめざし「地域包括支援センター」が、社会福祉協議会により事業実施されたが、美山支所の「サブセンター」には、職員が1人だけである。今後、より高齢者が増える中で、このような体制で果たして十分な対応ができるのか。「サブセンター」の人的な体制強化をすべきと考えるが、市長の見解を伺う。
市長 現状を見ながら、今後の方策を検討していく。